

自 - 自信を持って 自分から 自立 -



～修学旅行ふりかえり～

9月20日から22日にかけて、みんながとても楽しみにしていた修学旅行がありました。

作文と写真で3年生の学びや思い出を紹介します！



武道場での出発式
参加予定の全員が
そろいました！

黒丸 SA にて
京都出発式
ここで出発地ごとに
バスに乗り分けました



1組 奥山 心捺

私は2泊3日の修学旅行から、いろいろなことを学びました。

1日目は京都に行き、私たち4班は伏見稲荷神社、京都タワー、二条城に行きました。特に印象に残った観光地は伏見稲荷神社です。まず駅を降りて目の前にある大きな鳥居に驚き、次にその後ろにあるたくさんの鳥居の数にとっても驚きました。外国人の方もたくさんいて有名な神社なんだと思いました。帰りには受験のことをお祈りしてきました。

2日目の広島では、原爆ドームを見た後に平岡佐知子さんの講話を聞きました。「戦争は二度とあってはならないもの。」「戦争は人を惨めにし、幸せだった家庭を奪う。」この2つの言葉がすごく心に響きました。その後の資料館でも、悲惨な写真がたくさん並んでいて、撮影した人の気持ちを考えるとすごく心が痛くなりました。自然と涙が出てくるような写真ばかりでした。制限時間がありしっかりと全てを見ることができませんでしたが、少ない時間でも無差別に苦しめられた人々がどれだけいたかを思い知りました。このようなことがもう二度とないように世界全体で発信するようになるといいなと思いました。

3日目のUSJでは仲の良い友達と自由に好きなところへ遊びに行けてすごく楽しかったです。自分では絶対乗りたくないアトラクションでも、友達のおかげで乗ることができて良かったです。

この3年間で1番楽しい三日間になってよかったです。残りの中学校生活、勉強もがんばりながら楽しく過ごしていきたいです。

清水寺（清水の舞台）



2組 北川 遼

とても楽しみにしていた修学旅行に行くことができました。

1日目は自主プランで、京都を観光しました。銀閣寺では、室町時代の東山文化の質素な美しさや「わび さび」を感じることができました。また、世界遺産の下鴨神社では赤い楼門がとても美しく、雨が降っていたので幻想的に見えました。水みくじを引いて大吉だったのでとてもうれしかったです。

2日目は広島へ行きました。原爆ドームには第二次世界大戦の爪痕が残っていて、「戦争を起こさないでほしい」というメッセージのようなものを感じました。資料館には亡くなった子供たちの遺品が保管されていて、その日夢や希望を失った同世代の声が聞けたような気がしました。ガイドさんのところでは、

銀閣寺（慈照寺）

いろいろなお話の中で戦争に関するクイズが出されました。そのクイズの答えの中で「戦争の中で一番恐ろしいのは兵器じゃない。人の心が失われることや。」と言われたのが今でも忘れられません。

3日目はUSJに行きました。USJではホグワーツ城エリアで黒檀の杖を買ったり、ゴブレット・ロブでおさるのジョージとスヌーピーの景品を取ったりしました。とても楽しい思い出にすることができました。



2組 南 深仁

中3の修学旅行はとっても思い出になりました!!

まず初日の京都は、先生たちではなく一からグループのみんなで計画したので、

正直「うまくいかないだろうな」「バス乗り遅れたらどうしよう」と不安な気持ちでいっぱいでしたが、何とかうまく京都の街を見ることができました。その中でも印象に残っていることは、「バス停」です。乗らないといけないバスのところがわからなくて困っていると、「どちらに行かれるんですか」と優しくおばあさんが声をかけてくれました。おかげでバス停が見つかり、バスに乗り込むことができました。京都の街は外国人の方が多くいたけれど、日本の良さをこういうところからも感じているのかなと思いました。

広島では、戦争と平和について深く考えさせられました。大切な人をなくす悲しさ辛さを肌で感じました。広島にも外国人の方が多くいたけれど、私と同じような思いを持ってもらえたらいいなと思います。

最終日の大阪はユニバで、短い時間でも充分楽しめました。みんなで写真を撮り合ったりアトラクションに乗ってはしゃいだりできて楽しかったです。

行きのバスはにぎやかで、帰りのバスも周りの人たちとずっとUNOで盛り上がっていたのも良い思い出です。修学旅行のどの場面を切り取っても、笑顔だったと思います!

清水寺（寺門）



金閣寺（鹿苑寺）



牛カツ定食



二条城



伏見稲荷大社



3組 藤原 覚照

京都自主プランで行った金閣寺には外国人がたくさんいました。そこでもともとお昼ご飯を食べる予定だったけど、時間がなくてコンビニでお昼を済ませました。コンビニに着いた頃には雨がザーザー降っていて、ご飯を食べるのが大変でした。コンビニの中にイトインがあるの知らなくて、長ズボンと外履きがびしょ濡れになりました。竜安寺では段差がたくさんあって翔さんが転びそうになっていました。石庭が整えられていてきれいでした。北野天満宮では学業守を買いました。時間がなくて下鴨神社では走ってチェックポイントの大下先生の所まで行き、水占いをせずにお守りを買いました。バス停まで向かったけど、バスを間違えて集合時間に遅れてしまいました。

広島学習では原爆の恐ろしさを知りました。爆撃は煉瓦や鉄の扉など、簡単には動かせないものまで壊してしまうと思いました。

USJでは、一緒に回った人たちの多くがジェットコースター系に乗れないと言っていたので、あまり乗り物系には乗れなかったけど、最高の三日間になりました。楽しかったです。



八坂神社



バス移動

ホテルの夕食
水とご飯のおかわりは自由!



～10月集金～

10月の引き落としは
25日(水)です。
口座の確認をお願いいたします。

3年	10月
給食費	0
生徒会費	480
学年会計	5,520
合計	6,000



今号の言葉「旅じゃありませんか、誰だって人間の生涯は。」島崎 藤村 (詩「初恋」の作者)



新神戸駅から新幹線に乗って広島へ 路面電車に乗り継いで平和記念公園へ

1組 津田 愛心

今回の修学旅行で、私はいろいろなことを学ぶことができました。

京都では計画通りにプランを進めることの難しさを感じました。行きたいお店がどこにあるのかわからなかったり、どのバスに乗ったらいいかわからなかったり、乗りたかったバスを乗り過ごしたりと予定どおりに行かなかったことが多かったけど、最後はしっかり時間どおりに二条城に着くことができてよかったです。清水寺では歴史を感じながら、京都の街並みを一望することができてとても良かったです。

広島での平和学習の講話では、とても貴重なお話を聞くことができました。平岡さんの話で特に印象に残ったのは、貞江さんの父が火傷で真っ黒だったこと、被爆者が幽霊のようだったこと、5000人以上の原爆孤児がいたことです。火傷がひどかったことなどはよく聞くことがあったけど、実際にお話を聞いてみると原爆がどれだけの威力なのかよく分かりました。また原爆で家族を亡くした子供が5000人以上もいることにとても驚きました。



平岡佐知子さんによる講話

実害だけでなく間接的な被害もたくさんあったと知り、改めて原爆は

絶対にいけないものだと思います。碑めぐりでは、ひとつひとつの碑にしっかりと意味が込められていて感動しました。特に、原爆供養塔には一家全滅して、名前がわかって自分の家の墓に入れられない人が813人もいること、平和の灯は核兵器がなくなるまで火をともし続けることで核兵器がなくなることを祈っているところが印象に残りました。

今回の修学旅行で普段学べないようなことをたくさん学ぶことができてとても良かったです。

3組 前田 汐風

修学旅行ではじめての場所にたくさん行くことができました。京都では行ったところのほとんどがはじめての場所でした。でもほとんどの場所で雨が降ったので残念でした。お土産も買えてよかったです。

次に広島へ行きました。広島も初めて行きました。伝承者さんの話を聞いたり資料館の中を見たりして、今まで知らなかったことを知ることができました。資料館には写真や絵、被害に遭われた人が実際に身に付けていたものがたくさんあってびっくりしました。原爆は想像の何倍もひどいことがあったと知り、絶対にだめだと思ったし、行けて良かったと思いました。碑めぐりでは韓国人の碑もあって、日本人

だけが被害にあったわけじゃないことや誰のものかわからない骨もたくさんあることを知りました。

2組 正村 愛音

私は、この修学旅行を通して普段はできないような貴重な体験をたくさんすることができました。

1日目の京都では、祇園や清水寺、二条城などに行きました。ハプニングもたくさんあって大変だったけど、班のみんなと協力したり、周りの人たちに頼ったりして日本の伝統や文化を味わって楽しむことができました。また、特に印象に残っているのはインドネシアの人と話したことです。とても親切だったし、お互いに英語で話して、外国人とコミュニケーションが取れてとてもうれしかったです。京都では、日本の伝統や文化を感じただけでなく、自然の豊かさや人々の優しさにも触れた旅行となりました。また、古くからの文化を大切に守ろうとしている京都の人の思いがよくわかりました。

2日目の広島では、原爆が落ちた当時の話を聞いたり、資料館を見学して回ったりしました。約14万人もの人が亡くなったと知り、その一人ひとりに家族がいたことを思うととても悲しくなりました。もしそこに自分の家族がいたらと想像すると、さらに胸が苦しくなりました。広島では原爆が落ちた当時の話を聞いたり写真を見たりして被ばくについて知り、平和の大切さ、尊さを学びました。



資料館見学

貴重な機会をいただいて、自分の平和への思いがより一層強くなったし、たくさんの千羽鶴が捧げられているのを見て他の人たちの平和への思いも感じられました。

今回の修学旅行で友達とバスで歌ったり、新幹線でゲームをしたり、ホテルに泊まったり、朝や夜も一緒にご飯を食べたり、ユニバで思いっきり遊んだり、写真を撮ったり、たくさんの思い出ができました。

2泊3日の旅を通してクラスの仲間たちとの絆をより深めることができました。

学校へ帰ってきた時はたくさんの先生方が出迎えてくれてすごく嬉しかったです。

2組 窪田 凜生

修学旅行の三日間は、終わってみるととても短く感じました。

1日目の京都自主プランでは班で神社やお寺を回りました。一つ一つの神社お寺が広がったし、移動中歩いていても、歴史のありそうな建物がたくさんありました。考えたコースでは結構時間が余ったので、他の有名な場所も行けたらよかったです。でも目標にあったように、京都の歴史・伝統など少しは感じられたのかなあと思います。



碑めぐり 納骨名簿

2日目は、広島で平和について学びました。初めに講話を聞いて原爆の放射線の怖さなどを改めて感じました。資料館見学では、ひどい火傷や怪我を負った人や原爆症になった人の生々しい写真を何枚も見ました。こんな地獄のような景色を実際に見てきて、今証言者として体験したことを伝えている人がいることが本当にすごいと思ったし、その人たちは平和な世界を強く願っているんだなあと感じました。その後ガイドさんに説明してもらいながら碑めぐりをしました。それぞれの碑に込められた思いや、平

和と大通りが建物疎開の跡であること、原爆ドームの柱の一部はベンチのようになっていること、爆心地を

どうやって特定したのかなど、今まで知らなかった話をたくさん聞いて興味深かったです。「平和は自然にはやってこない」という言葉が印象的でした。

3組 出澤 美佳

修学旅行を通して楽しい思い出を作ただけでなく、貴重な体験からたくさんの良いものを得ることができました。

京都では、特に時間が足りませんでした。私たちの班はもともと3か所回る予定だったのが、2か所しか回れませんでした。計画がタイトだったのが原因の一つです。そこに行きたいと言っていた人を諦めさせてしまったのがとても申し訳なかったです。今後は後悔しないように計画力を身に付けたいです。他にも臨機応変に行動する対応力をみんなが教えてくれました。

広島では戦争の恐ろしさと平和の尊さを実感しました。証言者さんのお話を聞きながら碑めぐりをして、本当に平和な世の中になってほしいと強く思いました。資料館にはかなり残酷な写真がたくさんあって目をつむりたくなりましたが、かつて日本にあったことをしっかりこの目で見なくてはならないと思い、何とか最後まで見ることができました。この悲しい記憶を忘れてしまいたくなるけど、唯一の被爆国だからこそ世界平和に貢献できることがたくさんあると思いました。平和って実はとても重いものだと知ることができた今回の修学旅行。貴重な体験をさせてくださった方々に深く感謝したいです。



平和集会 原爆供養塔前で「No War」の願いを千羽鶴に託して



碑めぐり 原爆ドーム

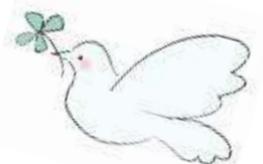
昼食 広島の宿「相生」にてお弁当



夕食 「ステーキランド神戸」



帰りの新幹線で
平和のふりかえり



1組 吉田 親平

9月20日(水)、朝早くから僕たちの修学旅行が始まりました。

1日目は京都までバスで移動し、10時30分ごろから自主プランがスタートしました。最初は少し焦っていたけど、みんなと協力しあっていくうちにこのメンバーなら絶対大丈夫と思えるようになりました。助け合いながらプランを楽しめたのでよかったです。また昼に食べた牛カツがとてもおいしく、食べ方もたくさんあってよかったです。でもプランが結構ハードだったので、もう少し工夫できたのではと反省も少しありました。

2日目は広島に行きました。もともと平和学習で戦争の恐ろしさは知っていたけど、伝承者さんの話を聞いて、本当に1945年8月6日に核爆弾が落とされたんだと実感しました。夜にみんなで食べたステーキはとてもおいしかったです。

そして3日目は待ちに待ったUSJです。10人ぐらいで回りましたが、行きたいところが違ったときにどう対処するかが難しかったです。積極的にみんなの意見を取り入れてある程度公正に判断できたので、ひとつ自分自身で成長したところだと思います。



3組 松田 悠吾

今回の修学旅行の感想は3つあります。1日目に行った京都でまず驚いたのは高い建物です。僕たちがいるところは田舎なので高い建物はすごいなと思いました。三十三間堂ではたくさんの千手観音がいてすごかったです。清水寺ではおみくじを引きました。前に行ったときは凶をひいたので今回はいいのを引きたいと思っていました。大吉が出たのでうれしかったです。また昼食では和牛ロース串を食べました。すごく柔らかくておいしかったです。

2日目は広島へ行きました。広島では原爆の恐ろしさともっとこの世界を平和にしないといけないと深く感じました。

3日目はUSJに行きました。僕が一番楽しみにしていた場所です。僕はあまりジェットコースターが得意ではないのですが、ユニバで一、二を争うフライングダイナソーに乗りました。最初はすごく緊張しましたが乗ってみたらすごく楽しかったし、スリル満点で面白かったです。またハリーポッターは箒に乗っているところが少し浮遊感があってすごく面白かったです。スパイダーマンは今年で終わるので乗れて良かったと思いました。

ホテルでは夜みんなでUNOをしてすごく面白かったです。この3日間はすごくいい思い出になりました。学校でもこれから生かしていきたいです。楽しかったことを思い出して受験勉強も頑張りたいです。



1組 北田 実優

私が修学旅行に行って学んだことは4つあります。

1つ目は礼儀の大切さです。今回の修学旅行でホテルの方々や店員さん、旅行会社の方などたくさんの人にお世話になりました。挨拶や感謝の言葉をきちんと伝えると、相手の方が笑顔になってくれて、自分もとても嬉しい気持ちになりました。

2つ目は周りの人の優しさです。京都やUSJの店員さん、広島のお碑めぐりで説明をしてくださった方など、たくさんの方が私たちにすごく優しく笑顔で話しかけてくれました。京都では店員さんだけでなく、外国の方が私たちにジェスチャーや単語を使って教えてくれて、すごく温かい気持ちになりました。

3つ目は平和についてです。これまでは映画などでしか原子爆弾について知る機会がなく、あまり詳しくありませんでした。しかし、実際に証言者の方の講話を聞いたり、自分の目で当時の写真や焼けてボロボロになってしまった幼稚園くらいの子の服などを見たりして、これまで自分が想像していたものよりはるかに被害は大きいものだったんだと知りました。そして二度と戦争があってはいけないと心から思いました。

4つ目はたくさん友達と話せたことです。いつもなら学校の数時間だけだけど、修学旅行中はご飯もみんなでたくさん話しながら食べることができたり、バスや電車を待っている間やホテルでも他のクラスの人ともたくさん話したりしてすごく楽しかったです。

今回の修学旅行で感じたことをこれからの活動にも生かして行けたらと思います。

ピロティでの解散式

いろいろありましたが
全員到着しました！



お世話になった添乗員さんに
お礼の言葉

保護者の皆様へ

コロナだけでなく季節外れのインフルエンザも心配される中、予定通り修学旅行の日程をこなし、大事なく全員で帰ってこられたことを大変嬉しく思っております。京都で、広島で、生徒たちはこれまで準備してきたことをいかし、現地でしか学べないことをつかもうと真摯に取り組んでいました。この修学旅行で得た貴重な経験と深まった学年の絆を、今後も様々な場面で見せてくれることと思います。

卒業まで半年を切りましたが、日々の学校生活を大切に過ごしてほしいと願っています。ご協力とサポートありがとうございました。

3年学年会一同